

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

7²⁰²⁴月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

CONTENTS



夏の貴船神社

- P1…2023年の京都での国際会議の開催状況
- P2…令和6年度のMICE助成金について
- P2…「京都市MICE PR動画」を公開
- P2…『もうひとつの京都』エクスカーションのご案内
- P3…「IMEX Frankfurt 2024」に京都単独ブースを出展
- P3…第27回国際昆虫学会議：市民向け講演会のご案内
- P3…大阪・関西万博に向けた取組
- P4…第4回「古典の日文化基金賞」受賞者決まる
- P4…街かど古典カフェ
- P4…京都迎賓館支援について

MICE

2023年の京都での国際会議の開催状況

6月18日に、2023年に京都で開催された国際会議の開催状況について発表いたしました。

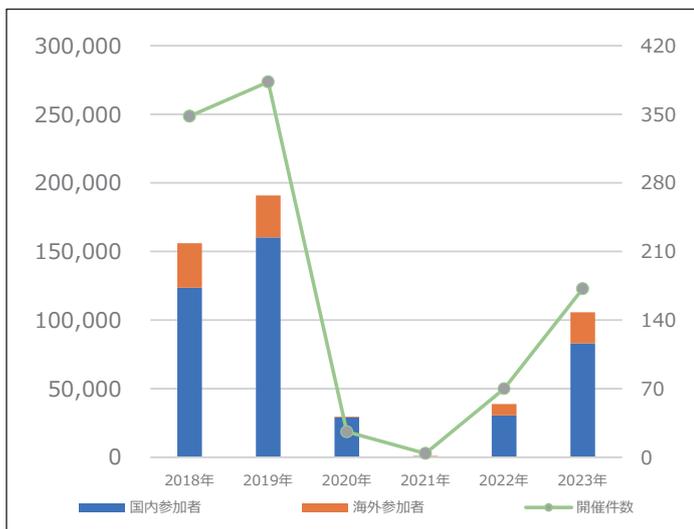
2023年は、4月に水際対策が終了し、新型コロナウイルス感染症の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことや、これまでの弛まぬ誘致活動、助成金の新設など様々な取組が功を奏し、**JNTO基準による国際会議の開催件数は、京都市域で172件（前年比2.4倍）、市域を除く京都府域では9件を記録**しました。市域では、10月に国連が主催する「インターネット・ガバナンス・フォーラム京都2023」が開催され、2021年以來2年ぶりに国連主催会議が開催されました。

JNTO統計より厳しい基準である「**国際会議協会 (ICCA) 基準**」においては、**京都市の件数が12件増の41件、前年より14位上がり、世界52位**となりました。

また、京都府域（市域を除く）についても、府域北部の特性を生かした国際会議が開催され、府域南部へのエクスカーションも実施されるなど、府域のMICEの活性化が少しずつみられています。

徐々に回復しているものの、コロナ前と比較した場合、市域で約45%の開催件数であり、コロナ禍からの完全な復活には至っておりません。当ビューローでは、引き続き、会員企業・団体の皆様、京都府、京都市、京都商工会議所、国立京都国際会館、京都市勤業館みやこめっせ等各施設、京都府警、京都大学等各大学などの皆様との連携をさらに強化するとともに、SDGsに資するより一層良質な国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

年別開催件数・参加者数（京都市域）



京都市域	開催件数	172件	前年比 245.7%
	総参加者数	105,700人	前年比 283.4%
京都市域を除く府域	開催件数	9件	前年比 150.0%
	総参加者数	3,933人	前年比 179.9%
京都府全域合計	開催件数	180件※	前年比 236.8%
	総参加者数	109,562人※	前年比 267.5%

（※：1件府・市重複あり / 府・市重複分は1件として集計）

MICE 令和6年度のMICE助成金について

当ビューローでは、京都府・京都市からの補助金を財源として、京都へのMICE誘致・開催支援を目的とする各種助成金制度を設けています。

京都市域では、昨年度、SDGsに資するMICEに補助を行う「サステナブルなMICE開催支援補助制度」を創設し、59件の案件を支援しました。その結果、環境に配慮した開催が増加したほか、700名以上の学生が国際会議へ参加し、2,000名以上の市民が公開講座へ参加するなど、開催効果の還元や次世代継承に寄与しており、令和6年度も継続します。

また、「京都市MICE開催支援助成金」や「京都らしいMICE開催支援補助制度」等、これまでの制度を継続し、京都市内で開催されるMICEを支援し、京都らしい文化プログラムや伝統産業製品の活用を促進します。

なお、今年度からは、観光の繁忙期である3月下旬～4月上旬、

11月下旬～12月上旬は補助・助成除外日とし、今後開催されるMICEの閑散期への誘導を図るほか、一部の助成金・補助金制度について、申請開始日を上期・下期に分けることで、下期に開催されるMICE主催者の申請の利便性を向上させます。

京都府域では、大阪・関西万博を契機にMICE誘致を一層推進するため、エクスカーション支援の対象となる会議等の開催地を京都市内から関西圏域に拡大します。また、令和2年度から実施している補助金上限額の引き上げについても継続し、京都府域におけるMICE開催を支援します。

この他にも多様な支援制度を用意しておりますので、詳しくは当ビューローのホームページにて御確認ください。なお、既に多数の申請を頂いており、要件を満たしていても御利用頂けない場合も一部ございますので、予め御了承ください。

京都市助成金制度の概要

支援メニュー	① サステナブルなMICE開催支援補助制度	② 京都らしいMICE開催支援補助制度	③ 京都市MICE開催支援助成金	④ 大規模国際コンベンション開催支援助成金	⑤ 大規模国際コンベンション誘致支援助成金
種別 対象者	M 企業ミーティング等 I インセンティブ・ツアー等 C 学会、会議、総会、大会等 同窓会 大学同窓会、企業OB会等の主催者	M 企業ミーティング等 I インセンティブ・ツアー等 C 学会、会議、総会、大会等 同窓会 大学同窓会、企業OB会等の主催者	M 企業ミーティング等 I インセンティブ・ツアー等 C 学会、会議、総会、大会等の主催者	C 学会、会議、総会、大会等の主催者	C 学会、会議、総会、大会等の主催者
対象経費	M・I・C・同窓会 サステナビリティに貢献する取組 ^{※1} (例) ・会議関連企画として、市民公開講座を行い、最先端の知見を共有 ・会議開催に当たり、カーボンオフセットを実施し、CO2の排出を削減 ・参加者にステンレスボトルを配布し活用を促し、ペットボトル・缶の使用を削減 ・学会への学生の関与を促すため、学生がアルバイトとして学会の運営等に従事 など	M・I・C・同窓会 会議等で京都らしさを演出し、参加者に「ほんまもん京都」の一端に触れていただく機会の提供に要する以下の経費(1)(2)併用可 (1) 文化プログラム ^{※1} 式典やレセプション等における舞、和太鼓、茶道、着物着付、鏡開き等の経費 ^{※2} (2) 伝統産業プログラム ^{※2} ・参加者に対して配布(記念品等)する伝統産業製品の購入経費 ・工房見学・体験に要する経費 ・ミスきもの派遣など	M・I・C 会議等の開催に要する経費	C 会議等の開催に要する経費	C 会議等の誘致活動に要する経費 (1) 広報宣伝費 (2) 印刷製本費 (3) 会場借上費 (4) キーパーソン等の招致経費 (5) その他特に必要と認める経費
助成金額上限	M・I・C・同窓会 30万円 ^{※2}	M・I・C・同窓会 50万円(一部75万円)	M・I・C 200万円	C 1,000万円	C 100万円
会期等	M・I・C・同窓会 1日以上開催 ^{※3}	M・I・C・同窓会 1日以上開催 ^{※3}	M・I・C 2日以上開催	C 3日以上開催	C 3日以上開催
参加人数	M・I・C 30名～上限なし 同窓会 100名～上限なし(うち京都市外在住者5割以上)	M・I・C 30名～上限なし 同窓会 100名～上限なし(うち京都市外在住者5割以上)	M・I・C 現地参加者50名以上(海外参加者要件なし)	C 3箇国以上かつ500名～上限なし(うち海外参加者100名以上)	C 3箇国以上かつ500名～上限なし(うち海外参加者100名以上)
受付期間	上期開催案件：令和6年4月19日(金)～ / 下期開催案件：令和6年9月2日(月)～ ※予算上限に達し次第終了			令和6年4月19日(金)～	予算上限に達し次第終了
備考	※1 費用が生じる、サステナビリティに貢献する取組であり、経済効果以外に、効果を数値で説明できる取組であること。ただし、京都らしいMICE開催支援補助制度において対象となる文化振興・伝統産業振興に関する取組は除く。 ※2 経費の50%(上限30万円)まで補助 ※3 参加者の7割以上が、原則京都市内に1泊以上滞在すること。(ただし、同窓会は除く) ・②③と併用可能 (対象：令和6年度開催案件)	※1 経費の100%(上限50万円)まで補助 ※2 経費の100%(上限50万円)補助 但し、主催者の購入額が100万円を超える場合は75万円補助 ※3 参加者の7割以上が、原則京都市内に1泊以上滞在すること。(ただし、同窓会は除く) ①③と併用可(対象：令和6年度開催案件)	①②と併用可 (対象：令和6年度開催案件) ※助成金額は、MICEが実施される時期・会期の長さ・規模等の複数の要素により決定します。	①②と併用可能 ・開催地決定前(誘致中)のみ申請可(対象：令和8年度以降開催案件) ※助成金額は、MICEが実施される時期・会期の長さ・規模等の複数の要素により決定します。	・開催地決定前(誘致中)のみ申請可(対象：令和6年度以降開催案件)

京都府MICE開催支援助成金制度の概要

支援メニュー	⑥ コンベンション開催支援	⑦ 分科会開催支援	⑧ コーポレートミーティング等開催支援	⑨ インセンティブツアー等開催支援	⑩ エクスカーション支援
対象経費	京都府域(京都市内を除く)における会議等の開催に要する経費	京都府域(京都市内を除く)における分科会開催に要する経費	京都府域(京都市内を除く)におけるコーポレートミーティング等の開催に要する経費	京都府域(京都市内を除く)におけるインセンティブツアー等の開催に要する経費	京都府域(京都市内を除く)が1箇所以上含まれるエクスカーション開催に要する経費
助成金額上限	会議等参加人数が 30名以上49名以下：20万円 50名以上199名以下：30万円 200名以上：60万円	分科会参加人数が 15名以上99名以下：20万円 100名以上：30万円	コーポレートミーティング等参加人数が 30名以上49名以下：20万円 50名以上199名以下：30万円 200名以上：60万円	インセンティブツアー等参加人数が 30名以上49名以下：20万円 50名以上199名以下：30万円 200名以上：60万円	エクスカーション参加人数が 15名以上：30万円
会期等	2日以上開催	本体となるコンベンションが⑥の会期など要件に当てはまり、かつ京都府内を含む関西圏で開催されること	2日以上開催	2日以上開催	京都府内を含む関西圏で開催される会期が2日以上コンベンション、コーポレートミーティング等、インセンティブツアー等 ※インセンティブツアーは、参加者の半数以上が外国人であること
参加人数	30名以上49名以下 ：日本を含む2箇国以上の参加 50名以上：外国人参加者要件なし	15名以上 ※外国人参加者要件なし	30名以上49名以下 ：日本を含む2箇国以上の参加 50名以上：外国人参加者要件なし	30名以上 ：参加者の半数以上が外国人	15名以上 ※外国人参加者要件なし
受付期間	令和6年4月19日(金)～ 予算上限に達し次第終了				
備考	⑦、⑩と併用可能	⑥、⑩と併用可能	⑩と併用可能	⑩と併用可能	⑥、⑦、⑧、⑨と併用可能

【MICE】「京都市MICE PR動画」を公開

当ビューローでは、京都市の補助を受け、アフターコロナやSDGsの観点を踏まえた、MICE開催都市としての京都の魅力を訴求する「京都市MICE PR動画」を制作し、この度、公開しました。

京都でのMICE開催を検討・予定されている主催者・関係者等に、無料で御利用頂けます。

動画の利用を希望される方は、以下のURL、もしくはQRコードから、ページにアクセスして御申請ください。

<https://meetkyoto.jp/ja/service/movie/>



【MICE】『もうひとつの京都』エクスカーションのご案内

国際会議等のMICE参加者に、京都市内だけでなく京都府域も訪れていただけるよう、『もうひとつの京都』のエクスカーションチラシを作成しました。各エリアのDMOやけいはんなコンベンション誘致推進協議会等に協力いただき、おすすめの訪問先や体験を掲載していますので、ぜひご覧ください。



5月14日～16日、ドイツ・フランクフルトで開催された「IMEX Frankfurt 2024」において、5年ぶりに京都ブースを出展し、国立京都国際会館、京都東急ホテル & THE HOTEL HIGASHIYAMA by Kyoto Tokyu Hotel、株式会社のみもととともに商談を実施しました。

今回の商談会では、ヨーロッパのバイヤーを中心に商談を実施し、共同出展事業者と共に、具体的な案件の取得や、海外バイヤーとのネットワークづくりを行いました。

京都ブースでの商談件数は118件で、1社の商談件数としては、コロナ前を超える件数となったほか、バイヤーからは

「京都のIMEX出展を待っていた」との声もあり、京都でのMICEに対する海外からの興味の高さを感じることができました。

今後もこのような機会を創出し、海外からのMICE誘致、MICE都市・京都のPRを行ってまいります。



当ビューローでは、京都で開催される国際会議の知見や技術を府民・市民の皆様も享受できるよう取り組んでいます。

この度、当ビューローが誘致・開催支援をした「第27回国際昆虫学会議」において、市民の皆様が参加できる講演プログラムが公開されました。講演会では、外来種が生態系に及ぼす侵入昆虫の問題に、市民と共に研究に取り組んでいる世界の昆虫学者の皆さんにご講演いただきます。奮ってご参加ください。

テーマ：暴れる侵略者、立ち向かう昆虫学者
 - “無視”できなくなった虫たちの脅威に私たちはどう向き合うか-

日時：2024年8月28日 16:00～17:30

会場：国立京都国際会館

言語：英語（日本語同時通訳付き）

参加申込期間：2024年6月28日（金）～8月21日（水）

参加費：無料（要申込）→ QRコードから事前にご登録ください。



<講演内容>

- 「市民の力で外来テントウムシの生態を解き明かす」（イギリス）
- 「キジラミと虫こぶ形成昆虫の事例から、外来昆虫と市民科学について考える」（台湾）
- 「世界を征服したアリたち」（日本）

当ビューローが共同代表を務める「大阪・関西万博きょうと推進委員会」では、大阪・関西万博に向けたオール京都の取組を国内外へ広く発信し、京都への誘客や府域における機運醸成を図るため、公式ホームページ「EXPO KYOTO Official site」を開設しています。

本サイトでは、万博に向けた京都での取組やイベント情報等を発信しており、企業や団体の皆さんの取組も紹介しています。これは、企業等の万博に向けた取組を同推進委員会が認証して応援する制度で、既に多くの取組が認証されています。認証されると認証ロゴマークを用いたPRが可能となります。随時申請を受け付けていますので、ぜひご検討ください。



公式ホームページ「EXPO KYOTO Official site」



万博に向けた取組を広く募集中です。



万博と京都を結ぶ

認証制度ロゴマーク

古典文化の研究・普及・啓発に貢献した個人と団体を顕彰する「古典の日文化基金賞」の第4回受賞者が決定しました。

「文学・思想」部門は、NHKの番組「100分de名著」の企画・制作スタッフに。難解な古今東西の名著にスポットを当て、作品の背景や奥深さをわかりやすく解説、13年にわたって続けています。

「伝統芸能・音楽」部門は、石川県の「御陣乗太鼓保存会」に。面をつけ太鼓を打ち鳴らし攻め入った敵を追い払ったという400年以上前の故事に由来、地域で守り伝えてきました。新年早々の能登半島地震で活動拠点が被災し、メンバーも避難生活を送る中、どんな時もたたき続けるのが伝統と稽古を続けています。

「美術・生活文化」部門は、石川県の輪島塗制作集団「彦十蒔絵」に。塗師や蒔絵師といった分業で作られてきた漆器を一つの職分に留まらず漆芸家集団として活動し、新しい漆の世界を切り開い

てきました。

若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」は2団体と1個人に贈られます。熊本県の「湯前町立湯前中学校」は、地域に伝わる神楽や踊りなどの伝統芸能を学び継承する活動を続けています。東京都の「The American School in Japan 狂言クラブ」は、大藏流狂言を日本語で学び、分かりやすい英訳を付けて公演するなど日本の伝統文化の理解と継承に取り組んでいます。京都府の「味方梓さん」は、初面から2年、数少ない女性能役者として修業を続ける中、能の魅力を広める活動を父娘で続けています。

また、藤原定家を家祖とし800年にわたり和歌文化を伝え実践してこられた「公益財団法人冷泉家時雨亭文庫」を会長特別賞表彰とさせていただきます。授賞式は9月3日(火)に京都コンサートホール アンサンブルホールムラタで行われます。

大河ドラマ「光る君へ」で紫式部への注目が高まる中、作家の奥山景布子さんを講師に「現代用語で読み解く源氏物語」と題し、2回シリーズで4月27日と5月25日に開催しました。

1回目は、紫式部は現代のフェミニズムに通じる発想を持っていて、「源氏物語」は時代を映しつづもそうしたメッセージが込められていると解説。2回目は、ウィメンズスタディーズの観点から平安時代の男女関係、女の策略と男の本音に迫りました。いずれも活発な質問があり、奥山先生も受講者の関心の高さに喜ばれていました。サイン会も実施し、和気あいあいとした雰囲気になりました。



京都迎賓館は、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくために平成17年(2005年)4月に開館した国の迎賓施設です。日本の伝統的な住居である入母屋屋根と数寄屋造りの外観となっており、その建物や調度品には数多くの日本を代表する伝統的技法が活用されています。また、平成28年からは通年で一般公開も実施され、来年で開館20周年を迎えます。

当ビューローでは、京都府、京都市、京都商工会議所とともに、賓客のもてなしを行うほか、一般公開に関する広報や特別企画への協力など、京都迎賓館の参観者の増加や満足度向上に資する取組を行っています。令和3年度からは、京都迎賓館のPR動画も制作しており、今春には「茶道」をテーマにした第3弾が完成し、これまでの「京料理」、「いけばな」とともに、現在好評公開中です。

また、京都迎賓館の参観記念のお土産として「オリジナル記念品」の企画・販売も行っています。当ビューローの賛助会員の皆様には「オリジナル記念品」の割引の優待制度も設けておりますので、詳しくは下記ホームページをご覧ください。



裏千家16代家元 千宗室氏ご出演のPR動画第3弾



迎賓館の椅子に張られている西陣織(正絹)を使用したポーチや長財布などを販売



新規賛助会員のご紹介(受付順) 2024年7月1日現在

株式会社ケイエムシステム

所在地: 京都市伏見区深草フチ町2番地102

TEL: 075-646-6600

デュシタニ京都

所在地: 京都市下京区西洞院通正面上ル西洞院町466

TEL: 075-343-7150

H P: <https://www.dusit.com/dusitthani-kyoto/ja/>



祇園かにを喰らう

所在地: 京都市東山区林下町434 EXIT 祇園ビル1F

TEL: 075-366-4141

H P: <https://kaniwokurau.com/>



公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー(KCVB) 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター 3階

TEL: 075-353-3050 FAX: 075-353-3055

<https://hellokcb.or.jp>

インボイス制度に係る登録番号 T9130005012622